

開催案内 第21回研究会（無機・金属分科会）

物質・材料研究機構 鈴木 達

「磁場を用いた微構造制御」

2017年の第21回研究会（無機・金属分科会）は第12回日本磁気科学会年会（2017年11月14日（火）～16日（木）京都大学）の最終日スケジュールの中に組み込んで開催いたします。

プロセス中に磁場が物質へ与える影響は様々に存在し、それらを駆使することにより材料の微構造や自己組織化を制御することが可能となってきています。そのためのプロセス開発と磁場作用の基礎研究に関して、新進気鋭の3人の講師の方にお話しをして頂く機会を得ました。参加費は無料となっていますので、是非ともご参加下さい。

11月16日（木）京都大学・百周年時計台記念館

講演1 13:30-14:15（予定）

「多層グラフェン被覆粒子を用いた低磁場配向プロセスによる高機能性材料開発」

高橋拓実（神奈川県立産業技術総合研究所）

講演2 14:15-15:00（予定）

「手を触れずに物体を動かす～自己組織化・磁場・光を巧みに利用した新技術～」

池添泰弘（日本工業大・創造システム工学科）

講演3 15:00-15:45（予定）

「鉄系合金の相変態およびセメンタイト析出に及ぼす磁場効果」

寺井智之（大阪大学大学院・マテリアル生産科学専攻）